

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (355), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (356), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (357), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (362), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a checkbox for '現状どおり推進' and a text area for comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (363), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1384	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 社会福祉協議会事業支援 個別事業 社会福祉協議会支援事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐		■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.03人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	113,187千円 (うち人件費 264千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	32001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	健康福祉総合計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域で共に支え合えるよう、共助意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携の強化など、地域の人々自らが地域福祉の担い手となるための取り組みを進めます。また、社会福祉協議会との結びつきを強化して、地域の相談窓口の役割を担う民生委員・児童委員の育成とその確保を図ります。			事業目的	社会福祉協議会への補助を行うことにより、地域ぐるみの福祉サービス提供・推進体制を充実させる。						
(3) 事業内容	内容	社会福祉協議会の運営費補助及び同協議会定款に定める事業について補助を行う。認知高齢者や一人暮らしの高齢者が増加する中、判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるような相談体制や成年後見制度等の利用を支援する体制を構築する。また、今後のニーズ増加に対応するため、市民後見人が適切に活動していくための支援体制を構築する。			当該年度執行計画	社会福祉協議会運営費及び同協議会定款に定める事業についての支援を行う。職員人件費と一部事業について補助する。後見支援センター事業は、後見専門員配置に伴う人件費についての支援を行う。						
		当該年度活動結果指標	補助等を通して実施する事業		単位	事業	想定値	18				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	効率的、安定的な地域福祉活動の推進			直接	社会福祉協議会のボランティア登録者数		事業	6,259	6,200			
令和2年度	効率的、安定的な地域福祉活動の推進			直接	社会福祉協議会のボランティア登録者数		事業		6,500			
令和3年度	効率的、安定的な地域福祉活動の推進			直接	社会福祉協議会のボランティア登録者数		事業		6,700			
(7) 事業実施上の課題と対応	「第5次地域福祉活動計画」の基本理念である「安心とゆとりの健康福祉都市あびこ」を実現するため、地域「見守り活動」「世代間交流」を一層促進させる。また、社会福祉協議会の財政基盤の充実と活動拠点の整備の支援を行う。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			社会福祉協議会補助金 後見支援センター運営費補助金	106,407 3,280		社会福祉協議会補助金 後見支援センター運営費補助金	109,643 3,280	109,643 3,280		社会福祉協議会補助金 後見支援センター運営費補助金	110,949 3,280	109,607 3,280
		予算(決算)額	合計	109,687	合計	112,923	112,923	合計	114,229	合計	112,887	
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0			
県支出金	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%			
起債	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%			
一般財源	109,687		112,923	112,923		114,229		112,887				
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.03		0.03		0.03		0.03				
正職員人件費	264		264	264		264		264				
嘱託職員報酬額	0		0	0		0		0				
臨時職員賃金額	0		0	0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	109,951		113,187	113,187		114,493		113,151				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	6,108.39千円/事業		6,288.17千円/事業		6,288.17							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地域住民の福祉に対する考え方を深め、地域で支えあう福祉を充実させるため、障害の有無や年齢、性別などに関わらず全ての人が住みなれた地域や家庭で、共に生きるノーマライゼーションの考え方を前提とした社会づくりが必要になっている。我孫子市社会福祉協議会は、本市における社会福祉事業の能率的運営と地域社会福祉の増進を図るために設立された社会福祉法人であり、その事業運営の財政的基盤を支援することは、ノーマライゼーションの推進に寄与するものである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 支援を行うことで財政基盤が確保され、安定した地域福祉政策を実施することができた。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 社会福祉協議会は、自主財源を確保する努力はしているが、十分ではなく、運営費の一部について市が補助している。社会福祉協議会の健全な運営は、地域福祉のために欠かせないものであり、補助については、十分な公益性が認められているものである。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		補助に係る事業において各種ボランティアとして連携している。		地域福祉活動において市民と協働して行った。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(事業)	目標値(b)(事業)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	6,259	6,200	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(事業)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 個人でのボランティア登録数の増加によるため。		
					6,259	100.95			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	113,187	△3,236	<削減の内容>		113,187	100	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		△2.94							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	5.48	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		事業	10万円			5.53	100.91		

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	改善策及び展開方向								
人件費については、今後も市の給与体制に合わせ補助し、効率的な事業運営を図るよう指導するとともに、地域福祉を推進するための公共性の高い事業を安定かつ継続的に実施できるよう現状通り推進していく。									

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1385), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善策及び展開方向. Includes a comment box for future actions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1387), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向.



事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1388	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)									
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 地域福祉活動支援 個別事業 民生委員推薦	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.43人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	3,868千円 (うち人件費 3,784千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード 32001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域で共に支え合えるよう、共助意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携の強化など、地域の人々自らが地域福祉の担い手となるための取り組みを進めます。また、社会福祉協議会との結びつきを強化して、地域の相談窓口の役割を担う民生委員・児童委員の育成とその確保を図ります。			事業目的	民生委員・児童委員の推薦			
(3) 事業内容	内容	民生委員・児童委員の推薦			当該年度執行計画	民生委員欠員補充のため年3回(7月、11月、1月)の民生委員推薦会を開催を予定。			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	%	想定値	100
当該年度	民生委員・児童委員の定員確保			直接	定員充足推薦割合	%		実績値	89.7
令和2年度	民生委員・児童委員の定員確保			直接	定員充足推薦割合	%			100
令和3年度	民生委員・児童委員の定員確保			直接	定員充足推薦割合	%			100
(7) 事業実施上の課題と対応	民生委員・児童委員の欠員が生じている地区があるため、民生委員と協力し、定員確保に努める必要がある。			代替案検討	○有 ●無				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価	事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))	改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	厚生労働大臣が委嘱する民生委員・児童委員は、民生委員法に基づき市が推薦することになっている。	●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった	○要 ●不要		
	<p>●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他</p> <p>○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他</p>	<p>■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他</p> <p>&lt;その他の内容&gt;</p>	<p>&lt;市実施の具体的な内容・必要性の理由&gt; 厚生労働大臣が委嘱する民生委員・児童委員は、民生委員法に基づき、市が委嘱手続きを進めることが定められている。</p>	○要 ●不要	
参加・協働の工夫	<p>参加・協働の内容</p> <p>○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他</p> <p>&lt;その他の内容&gt; 民生委員推薦会は、民生委員法に基づき関係委員の代表で構成するものとされている。</p>	<p>実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)</p> <p>民生委員の身分は、非常勤特別職の地方公務員に該当するが実態としてはボランティア的な面もある。欠員地区の補充をするため、地域の民生委員と協力し、定数の確保に努めた</p>	<p>参加・協働の程度・内容</p> <p>○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下</p> <p>&lt;期待した以上となった理由/期待以下であった原因&gt;</p>	○要 ●不要	
	<p>配慮の視点</p> <p>□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他</p> <p>&lt;その他の内容&gt; 該当なし</p>	<p>実施した具体的な内容</p>	<p>環境への配慮</p> <p>●①想定どおり ○②想定どおりでなかった</p> <p>&lt;想定どおりでなかった原因&gt;</p>	○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	<p>現況値(a)(%) 89.7</p> <p>目標値(b)(%) 100</p> <p>目標値の妥当性のチェック</p> <p>□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である</p>	<p>達成状況</p> <p>実績値(f)(%) 89.7</p> <p>達成率(%) (f/b)×100 89.7</p> <p>&lt;目標を達成した理由/未達成となった原因&gt; 新規民生委員を推薦したが、欠員地区を全て埋めるまでには至らなかった。</p>	<p>○①目標値達成 ●②目標値未達成</p>	○要 ●不要	
	<p>対策実施による事業費削減</p> <p>事業費(c)(千円) 3,868</p> <p>事業費削減額(d)(千円) △880</p> <p>事業費削減率(%) △29.45</p>	<p>実施予定の対策</p> <p>□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託</p> <p>&lt;削減の内容&gt;</p>	<p>実施状況</p> <p>実績値(g)(千円) 3,844</p> <p>対事業費(%) (g/c)×100 99.38</p> <p>&lt;超過理由等&gt;</p>	<p>○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過</p> <p>事業費の削減対策について</p> <p>●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった</p> <p>&lt;想定どおり削減できなかった原因&gt;</p>	○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	<p>目標値対事業費(e)</p> <p>2.59</p> <p>単位 %</p> <p>費用単位 10万円</p>	<p>計算方法</p> <p>●①単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費</p>	<p>達成状況</p> <p>実績値(h) 2.33</p> <p>対目標値(%) (h/e)×100 89.96</p>	<p>○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下</p> <p>&lt;目標値以上となった理由/目標値以下であった原因&gt; 一斉改選により定年や途中での退職者が増加したため。</p>	○要 ●不要

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)	
評価コメント	改善策及び展開方向
欠員地区の解消に向けて民生委員の推薦を民生委員と協力し、今後も引き続き推進していく。	

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1389), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用) with detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a note about COVID-19 impact on bus usage.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1390), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a note about future facility management and a direction for improvement.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1391), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and implementation direction.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1392	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 社会福祉の充実 個別事業 日本赤十字社の支援	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.01人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,177千円 (うち人件費 88千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	32001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域で共に支え合えるよう、共助意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携の強化など、地域の人々自らが地域福祉の担い手となるための取り組みを進めます。また、社会福祉協議会との結びつきを強化して、地域の相談窓口の役割を担う民生委員・児童委員の育成とその確保を図ります。			事業目的	日本赤十字社は人道的支援を原則に国内外の大規模災害や内戦等の武力紛争などの救援活動を展開している。我孫子市においても「日本赤十字社我孫子市地区」をおき、市内災害の救援活動や献血等の血液事業や救急法等の各種講習会を地域で展開している。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員増強・社資募集運動を展開して、地域住民に対し赤十字活動の理解と資金的協力を依頼する。</li> <li>・年4回市役所正面玄関において献血を実施。</li> <li>・市内の災害時における救援物資・見舞金の支給。</li> </ul>			当該年度執行計画	4月：社員増強・社資募集運動に関する自治会、町内会の説明会を実施。 5月・6月：社員増強・社資募集運動展開。 7月：西部ブロック1日赤十字開催 6月・9月・12月・3月：市役所玄関において献血実施。 9月：市防災訓練の参加。(赤十字奉仕団) 年間：市内の災害時における救援物資の配布、見舞金の支給。 千葉県支部での赤十字奉仕団や担当職員の研修会等への参加。 千葉県支部との連携、事務。					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	人	想定値	2,000
当該年度	日本赤十字の活動に、より多くの市民に協力してもらう。				間接	多くの市民に献血等に協力してもらうことにより赤十字活動に参加し理解してもらう人数		人		実績値	1,217
令和2年度	日本赤十字の活動に、より多くの市民に協力してもらう。				間接	多くの市民に献血等に協力してもらうことにより赤十字活動に参加し理解してもらう人数		人		(5) 現況値	2,200
令和3年度	日本赤十字の活動に、より多くの市民に協力してもらう。				間接	多くの市民に献血等に協力してもらうことにより赤十字活動に参加し理解してもらう人数		人		(6) 目標値	2,500
(7) 事業実施上の課題と対応	血液は長期的に保存できないため、定期的な献血の協力が不可欠であるが、年間の摂取量が決められていることから、イベント等の実施を通して、新たな協力者の確保に取り組む必要がある。日本赤十字協会の説明会は社会福祉協議会の募金活動の説明会と同時間開催する予定であるため、自治会等に誤解を与えないよう協力を求めている。				代替案検討	○有 ●無					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価	事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))	改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	県内での血液が不足しているため、より多くの献血協力者が必要である。しかし、献血協力者の半数以上が献血経験者であり、また、1人に対する年間摂取量が制限されているため(男性1,200cc、女性800cc)県内での血液摂取量が頭打ち状態である。新たな献血協力者と血液を確保することが必要である。	●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> <想定どおり、血液確保確保等、住民福祉の維持は地域にとって不可欠であり、本事業の必要性は高い。	○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が高まる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる ■その他	■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>	○要 ●不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>	実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) ボランティアとして、我孫子市赤十字奉仕団が協力している。	○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし	実施した具体的な内容 日本赤十字社は、人道・博愛の精神に基づき、常に人命第一の活動をしている。	○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人) 1,217 目標値(b) (人) 2,000 目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況 実績値(f) (人) 1,217 達成率(%) (f/b×100) 60.85 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 協力会員数が減少したため。	○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円) 1,177 事業費削減額(d) (千円) 856 事業費削減率(%) 42.11 実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>	実施状況 実績値(g) (千円) 1,177 対事業費(%) (g/c)×100 100 <超過理由等>	○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e) 169.92 単位 費用単位 人 10万円 計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	達成状況 実績値(h) 103.4 対目標値(%) (h/e)×100 60.85 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 寄付する自治会数の減少及び寄附額の減少。	○要 ●不要

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント	災害時対応、血液確保への協力等、日本赤十字社との連携・協力は、万が一の時に必要不可欠であり、本事業の必要性は高いため、継続して推進していく。	改善策及び展開方向
--------	--	-----------

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1393), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1394), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed financial breakdown table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a summary table and a comment field.

事務事業評価表(平成31年度)

事業コード 1395 課コード 0501 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント
改善策及び展開方向



事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1396), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1400), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1401), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

事業コード 1402 課コード 0501 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画, 当該年度活動結果指標
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5)現況値, (6)目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫
環境への配慮
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 催告状の送付や市内未納者の訪問により、未納額を回収できたケースもあったことから、次年度以降も回収率の向上を目指し返還を促していく
改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1404), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment on the effectiveness of the support and future plans.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1405), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for performance metrics, cost efficiency, and environmental impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a text box for comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1406), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1407), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善策及び展開方向.



事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1645), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 2 (Heisei).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1958), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用) with detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a table for '現状' with options like 現状どおり推進, 拡充, etc.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2047	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 社会援護の充実 個別事業 骨髄移植ドナー支援事業	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課								
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市											
	⑤事業期間	平成25年度 ~		⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.11人										
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,248千円 (うち人件費 968千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	32001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域で共に支え合えるよう、共助意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携の強化など、地域の人々自らが地域福祉の担い手となるための取り組みを進めます。また、社会福祉協議会との結びつきを強化して、地域の相談窓口の役割を担う民生委員・児童委員の育成とその確保を図ります。			事業目的	白血病や再生不良性貧血等の患者に対し、骨髄や末梢血幹細胞を移植できるようにするため、骨髄等の提供者に対して助成金を支給し、提供件数の増加を図る。									
(3) 事業内容	内容	平成25年4月1日以降に、公益財団法人骨髄移植推進財団が実施する骨髄バンク事業で骨髄や末梢血幹細胞を提供した市民に対して助成を行う。 平成25年10月1日事業開始(1回10万円)。 平成31年4月1日より助成額変更。1日2万円、7日間を上限として助成を行う。			当該年度執行計画	助成申請の受付、ホームページや広報、市内各所の公共機関にチラシを置き事業のPRを行う。									
		当該年度活動結果指標	骨髄等を提供した方への助成件数		単位	件	想定値	2		実績値	1				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	骨髄等の提供件数が増加する。				直接	骨髄等の提供件数		件	1	2					
令和2年度	骨髄等の提供件数が増加する。				直接	骨髄等の提供件数		件		2					
令和3年度	骨髄等の提供件数が増加する。				直接	骨髄等の提供件数		件		3					
(7) 事業実施上の課題と対応	骨髄等の提供者を増やすために、骨髄バンクのドナー登録者の増加及びドナー適合者の提供促進を図るための取組みを行う必要がある。ドナー登録の重要性や登録方法に関する市民への情報発信及び提供者への助成を通して、登録者の増加及び骨髄等の提供促進を行う。				代替案検討	○有 ○無									
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			骨髄移植ドナー支援助成金	200		骨髄移植ドナー支援助成金	280	140		骨髄移植ドナー支援助成金	280		骨髄移植ドナー支援助成金	280	
		予算(決算)額	合計		200	合計		280	140	合計		280	合計		280
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
県支出金	補助率	50%	100	補助率	50%	140	70	補助率	50%	140	補助率	50%	140		
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
一般財源		100	100		140	70	140		140	140		140	140		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0		
換算人数(人)		0.01			0.11	0.11			0.01			0.01			
正職員人件費		88			968	968			88			88			
嘱託職員報酬額		0			0	0			0			0			
臨時職員賃金額		0			0	0			0			0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		288			1,248	1,108			368			368			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		144千円/件			624千円/件				1,108						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	白血病など重い血液の病気が診断される人は、年間およそ1万人。医療の進歩で薬などの治療が功を奏する患者が増えてはいるものの、移植でしか治療が望めない患者はまだ多く、年間2,000人以上の方が骨髄バンクを通しての移植を望んでいる。しかし、骨髄移植等の実施は、移植を希望する方の約6割に留まっている。ドナー登録者の増加を図るため広く市民に啓発活動を行うとともに、適合者の移植を後押しするため本事業を実施する。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 白血病や再生不良性貧血等の患者に対し、骨髄や末梢血幹細胞を移植できるようにするため、骨髄ドナー登録者や提供者を増やす必要があり、本事業の必要性は高い。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が主導となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 骨髄ドナー登録者や提供者を増やすため、市の広報やホームページへの掲載や市内の公共施設へのチラシ配布を通して情報発信を行っている。 地方公共団体は、国との役割分担を踏まえ、移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する施策の策定及び実施の責務を有しているため、市が主導で実施する必要がある。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 商工会を通じた啓発活動、市民団体と協力した骨髄ドナー登録会(献血同時開催)の実施。				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ●②目標値未達成	
	1	2	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	50		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 骨髄ドナー登録者や提供者を増やすための啓発は行ってきたが、該当者がいなかったと思われる。	
					達成状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策		実施状況		対事業費(%)		○要 ●不要	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	88.78			
		△333.33		<超過理由等> ドナー提供者の該当者が1人であったため。					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下		○要 ●不要
	0.16	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	56.25		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 骨髄ドナー登録者や提供者を増やすための啓発を行ってきたが、今年度は、該当者が少数であったと思われる。	

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	骨髄等の提供者を増やすためには、まずは骨髄バンクのドナー登録者を増やすことが必要であるため、広報やホームページ等で周知し、引き続き事業を推進していく。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (2103), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向
(3) 事業内容: 内容
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

Summary table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)
評価コメント: これまで相談に繋がってこなかった生活困窮等の社会課題を抱えた相談者からの相談が関係機関を通じて繋がってくるようになってきたものの、対応する社会資源やサービスがないことから解決に時間を要するケースが増加しており対策が必要なため、今後も引き続き推進していく。
改善策及び展開方向